

東北復興日記



143

ベテランママの会の活動のひとつにサロン活動があります。震災後の二〇一二年五月、岩手県大船渡市のニットカフェで見学したことがきっかけで、福島県南相馬市でも編み物しながらお茶を飲もうと始まったニットサークル。仮設や借り上げ住宅に住んでいる方も含め、二十人ほどが月に二回集まっています。



ベテランママの会代表
番場さち子さん



被災3県の編み物交流

震災前は農作業で忙しくて

編み物などする余裕もなかったという七十代の女性は、福

島第一原発から二十キロ圏内

自宅に戻ることが許されてい

ません。鎖編みから教わっ

て、今ではベストを編めるく

らいに上達しました。農業が

できなくなった今、編み物が

生きがいだと話しています。

先日、岩手と宮城の編み物

サークル(といっても、ここ

らはきちんと商品化して販売

しているグループの皆さん)

が作品持参で南相馬を訪ねて

くれました。今度はこちら側

し、再会を果たしました。

世界遺産の毛越寺を拝観

し、編み物好き同士で作品の

ご披露会をし、一緒にお風呂

に入り、食事など交流しまし

た。写真。大震災で失ったも

のまたくさんありますが、新

しい出会いやお互いを思いや

る心もいただくことができ、

ニットサークルのメンバーた

ちも大変喜んでいました。

今後の生活設計や住宅の問

題、仕事のことなど悩みは尽

きませんが、寄り添ってくれ

る仲間にも恵まれたことはあり

がたい出来事のひとつです。

「同じ被災3県の中でも、福

島は原発事故があって三重苦

の立場だけれど、お互いに体

に気をつけて頑張りましょ

う」「いつでも応援していま

す」と言葉を掛けていただ

き、温かな気持ちで平泉を後

にしたのでした。常磐道が開

通したことで岩手もグッと距

離感が縮まった感じです。こ

れからも不安や悩みを抱えた

皆さんに、ベテランママの会

は寄り添っていこうと考えて

います。



※毛糸のご支援は今も募っ

ております。ベテランママの

会連絡先〓電0422(23)

3918。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。